



タイトル「**2024年度危機管理学部(公開用)**」、フォルダ「**(共通)**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー	RMGT/SSCS1163		
科目名	教養特殊講義 3		
担当教員	河合 一武,山崎 真紀子,北田 典子,清水 享,日吉 秀松		
対象学年	1年	開講学期	後期
曜日・時限	木 3		
講義室	1501	単位区分	選
授業形態	講義	単位数	2
科目大分類	総合教育		
科目中分類	総合基礎		
科目小分類			
科目の位置付け（開発能力）	■ D Pコード：学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連 DP1-D〔市民的素養・市民的教養〕市民的素養と参加コミュニティに積極的な変化をもたらすために、知識・スキル・価値観・動機を動員することができる。 DP4-I〔理解力・分析力〕文章表現、数値データを適切に扱いつつ、情報の収集と取捨選択、分析と加工を有効かつ円滑に行い、課題の解決につなげることができる。 DP7-C〔他者理解・倫理観・公共心〕人間の行動の正誤に関する推論に正面から取り組み、社会的な存在としての自己の行動原理を獲得することができる。 ■ C Rコード-学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモンルーブリック（C R）との関連 D1 市民的素養と参加（60%） C1 倫理的思考・社会認識（20%） I1 理解・分析と読解（10%） I2 量的分析（5%） I3 情報分析（5%）		
教員の実務経験			
成績ターゲット区分	■成績ターゲット 能力開発の目標ステージとの対応 1 萌芽期 ～ 2 進行期		
科目概要・キーワード	本講義では、様々な研究領域を持つ5名の担当教員が、スポーツとの関連性において、球技(サッカー)、武道、文学、文化人類学、政治という設定した主題に基づき、多様な観点から教養的かつ専門的知識をオムニバス形式で展開します。単なるスポーツを越えた視点で幅広い知識と他の学問との関連性を学修します。授業は講義形式で行われ、資料・視聴覚教材も使用して実施します。なお、授業を補完・代替するためにオンライン授業（オンデマンド型）を取り入れる場合があります。 ■キーワード：球技、武道、スポーツと文学、スポーツと文化人類学、スポーツと政治		
授業の趣旨	■副題 競技スポーツを起点としながら、関連する様々な専門的な考え方を習得し、スポーツ科学からの学びの幅を広くすることができる社会人になりましょう。 ■授業の目的 技術革新が進む現代社会において、スポーツ科学を理解することは、私たちが競技スポーツに取り組む上で問題の理解や解決のための多くのヒントを与える要素となります。本講義では、スポーツの専門的な理解を通じて様々な問題解決方法を学習します。 ■授業のポイント 近年、スポーツ科学はより進化しています。第1-3回の講義ではサッカーを事例とする競技スポーツの科学的分析方法と結果を理解することを目的とします。第4-6回の講義では武道を事例とする競技スポーツの発達史、分類と特性、稽古内容、指導方法等を理解することを目的とします。第7-9回の講義では文学の中の競技スポーツを理解することを目的とします。第10-12回の講義ではオリンピックを始めとするスポーツへの政治介入のあり方を理解することを目的とします。第13-15回の講義ではスポーツと文化人類学の関連性を理解することを目的とします。講義を通じて文化的素養、市民的教養としてスポーツ科学の専門的知識を理解するとともに、情報の理解・分析を通じて市民参加への応用を図ります。		
総合到達目標	■競技スポーツを起点としながら、球技、武道、スポーツと文学、スポーツと政治、スポーツと文化人類学に関連した専門的な考え方を学び、スポーツ科学からの学びの幅を広くすることを習得する。 ・競技スポーツを科学的に分析できる（第1～6回）。 ・競技スポーツと他の学問との関連性を理解できる（第7回～第15回）。		
成績評価方法	■リアクションペーパー（30%）：適用ルーブリック D1・C1 （評価の観点）講義への参加意識の濃度をリアクションペーパー等で評価します。 （フィードバックの方法）次の講義にて補足的な解説をします。 ■各担当教員の最終回におけるレポート（70%）：適用ルーブリック I1・I2・I3 （評価の観点）各単元において最も重要な点について問い、理解度を評価します。 （フィードバックの方法）レポート配布の回の講義にて、事前にポイントを解説します。		
履修条件	講義で採り上げられるサッカーと武道はあくまで事例であり、種目を越える視点で幅広い知識を学修しますので、自身の取り組む競技種目に関わらず、学びを得ることができます。本講義による学びを通じて、自身の取り組む競技種目への活用する内容を具体的に想定しておきましょう。		
履修上の注意点	シラバスを確認のうえ、必ず第1回授業に出席します。科目構成上、授業回が入れ替わることがあります。		

授業内容		回	内容
	1	①授業のテーマ サッカーの起源・語源と競技の精神【担当者：河合】 ②授業概要 近年、サッカーの競技人口は増加したが、その起源などを改めて学ぶ機会は少ない。本講義では、サッカーの起源・語源に纏わる史実から近代サッカーの成立に至るまでをFootball Associationの創設や競技規則・競技精神の変遷とともに考察する。（D1・C1） ③予習（120分） サッカーの起源・語源とFootball Association創設の関連を調べておく。 ④復習（120分） サッカーの起源・語源や競技規則・競技精神について整理する。	
	2	①授業のテーマ サッカー選手の生の非贈与性～誕生月と出生順位【担当者：河合】 ②授業概要 競技スポーツに取り組む者の中で、スポーツ選手の優位性はどのような要素によって決定づけられるのか統計的な傾向を知る機会は意外に少ない。本講義では、「何月に生まれた」「何番目に生まれた」など、自分では操作できない「生の非贈与性」についてサッカー選手を対象に調査した結果をもとに、なぜ特異的な現象が起こるのかを検証する。（D1・C1・I1・I2） ③予習（120分） 「相対年齢効果（Relative age effects）」について調べておく。 ④復習（120分） サッカー選手の誕生月と生の非贈与性に認められた傾向について他の競技種目でも整理する。	
	3	①授業のテーマ ヒト（アスリート）の脊髄歩行中枢に関する神経生理学【担当者：河合】 ②授業概要 ヒトの腰髄に対して経脊髄的に連発で磁気刺激を行うと、律動的な歩行様の両下肢運動を誘発できることが河合らの研究で明らかになった。この磁気刺激は、脊髄損傷や脳梗塞後の下肢麻痺による歩行障害に対する新しいリハビリテーションになることが期待される。本講義では、脊髄歩行中枢のあるヒト腰背部への磁気刺激は歩行様運動を誘発することから、競技種目特性に鑑みた刺激強度特性、介入運動による影響について解説する。（D1・C1・I1） ③予習（120分） 「脊髄歩行中枢」について動物実験モデルの結果を調べておく。 ④復習（120分） ヒト脊髄歩行中枢について整理し、まとめておく。	
	4	①授業のテーマ 武道とその学ぶ意義【担当者：北田】 ②授業概要 武道は武士道の伝統に由来する日本で体系化された武技の修練による心技一如の運動文化で、心技体を一体として鍛え、人格を磨き、道徳心を高め、礼節を尊重する態度を養う人間形成の道であるとされ、柔道、剣道、弓道、相撲、空手道などの種目がある。本講義では武道の発達史とその流儀について解説します。（D1・C1） ③予習（120分） 武道の歴史とその流儀について調べておく。 ④復習（120分） 武道の発達史とその流儀から学び取るべきことをまとめる。	
	5	①授業のテーマ 武道の指導方法と指導能力の向上【担当者：北田】 ②授業概要 武道の指導には伝統的な指導方法があるが、近年は様々な課題が指摘され、指導能力のより一層の向上が求められるようになってきた。本講義では、武道の指導者にとって必要な基礎的能力とその能力向上のための方法を解説します。（D1・C1） ③予習（120分） 様々な武道の指導方法について相違点を調べておく。 ④復習（120分） 武道の指導者に必要な基礎的能力とその能力向上のための方法について、まとめる。	
	6	①授業のテーマ 武道の国際化【担当者：北田】 ②授業概要 近年、武道の国際化は急速に進展する中、武道の発展と国際化のあり方には様々な課題が指摘されている。本講義では、武道にはそれぞれに流派、礼法、技術体系がある中で、国際化が進む中でどのようにそれを伝え、深化させていくかを解説します。（D1・C1） ③予習（120分） 武道の国際化の状況（関心のある種目でよい）について調べておく。 ④復習（120分） 武道の発展と国際化の中で直面する課題についてまとめる。	
	7	①授業のテーマ 20世紀初めのバンクーバー日本人移民によるスポーツの意味を考察する。【担当者：山崎真紀子】 ②授業概要 1918年にカナダに渡り18年間、バンクーバーやアメリカに身を置いた作家・田村俊子の描いた日本人移民の身体性を、彼女が描いた小説から考察する。また、映画『バンクーバーの朝日』（2014年公開、ノベライズ作品も用いる）の主要部分を副教材に用いて、日本の移民政策によって海外に渡った日本人の身体性を「野球」を通じて見ていく。 ③予習（120分）日本近代の移民政策について、時代状況を調べておく。図書館で『田村俊子全集』（書物）の中の作品数編を読んでおく。 ④復習（120分）日本人移民の書物や資料を図書館で読み、重要点をノートにまとめておく。図書館にある大谷翔平の本などを読んでノートにまとめておく。	
	8	①授業のテーマ 前回に引き続き、映画『バンクーバーの朝日』の一部の映像表現から、日本人移民の歴史を学び取り、日本という国家がどのような近代化を遂げていったのか、理解を深める。【担当者：山崎真紀子】 ②授業概要	

	日本の明治以降の野球発展史を踏まて、バンクーバーで、体が小さく体力もないため不利な野球の試合展開を、キャプテンが戦略を考案して勝利していく背景を探る。バンクーバーの日本人移民の野球チーム・朝日軍の勝利方法を見ていく。 ③予習（120分） 『バンクーバーの朝日』（ノベライズ作品）を読み、疑問点や気になった表現をノートに書く。 ④復習（120分） 小柄な日本人と大柄なカナダ人との間の体力差を、「野球」というスポーツにおいて、どのような戦略で克服し優勝へと導いたのかノートにまとめる。バンクーバーにおける日本人移民の諸制度を図書館にある関連書物で調べ、ノートにまとめる。
9	①授業のテーマ バンクーバー朝日軍はなぜ優勝することが出来たのか、「チームワーク」「頭脳プレー」をキーワードにして考察を加える。【担当者：山崎真紀子】 ②授業概要 映画『バンクーバーの朝日』の主要部分を副教材に用いて、戦前期までのバンクーバー朝日軍の活躍や日本人街の活況の様子などを映画から学び、太平洋戦争開始後の日系移民の処遇など資料スライドや文献を用いながら理解を深める。参照系に、現代作家・村上春樹が魅了された各種のマラソン大会に参加している状況を鑑み、書くことと走ることの共通項を考える。 ③予習（120分） 村上春樹『走ることについて語るときに僕の語ること』（文春文庫、2010年）を読んでおき、疑問点や気になった表現をノートに書く。 ④復習（120分） イチロー選手のシアトルでの引退スピーチをWEB映像で見て、小柄な日本人がなぜシアトルで大きな成果をえられたのか、その要因を考察してノートに250字程度でまとめておく。そして、この講義を通して何が得られたのか、要点もまとめておく。
10	①授業のテーマ 文化人類学とスポーツ人類学【担当者：清水】 ②授業概要 文化人類学にはさまざまな研究分野があるか、そのなかにスポーツ人類学という分野もある。この分野は文化人類学の視点から、世界中のさまざまな文化社会におけるスポーツ活動を分析考察する。文化人類学とスポーツ人類学がいかなるものであるか学ぶ。（D1・C1） ③予習（120分） 文化人類学がどのような学問か調べる。 ④復習（120分） 文化人類学とスポーツ人類学がいかなる学問分野であるかまとめる。
11	①授業のテーマ スポーツ人類学と民俗事例【担当者：清水】 ②授業概要 スポーツ人類学がどのような学問分野であり、どのようなことを研究対象としているのか学ぶ。世界中の社会に見られる文化としてのスポーツを考える。特にスポーツと祭祀活動の関係について、世界や日本の事例から分析考察する。（D1・C1） ③予習（120分） スポーツ人類学における民俗事例がどのようなものがあるか調べる。 ④復習（120分） スポーツ人類学における民俗事例にどのようなものがあったのかまとめる。
12	①授業のテーマ 博多祇園山笠【担当者：清水】 ②授業概要 スポーツ人類学が研究対象とする民俗事例として、福岡県福岡市博多区で毎年7月に行なわれる博多祇園山笠について学ぶ。文化として長い歴史のある博多祇園山笠の歴史、文化、社会における地位などを考える。（D1・C1） ③予習（120分） 山笠がどのような祭祀活動か調べる。 ④復習（120分） スポーツ人類学が研究対象とする博多祇園山笠がどのようなものであるかまとめる。
13	①授業のテーマ スポーツと政治①【担当者：日吉】 東京オリンピック・パラリンピックを契機に、改めてオリンピックの歴史を知る機会は増えた。本講義では、古代オリンピックの目的を振り返り、スポーツに対する政治的な介入の歴史と国家主義の概念との関連性について解説します。（D1・C1） ③予習（120分） 古代オリンピックの歴史、特に政治問題との関連のあったオリンピックの出来事を調べ、まとめておく。 ④復習（120分） オリンピックの目的を整理し、スポーツへの政治的な介入のあった事例についてまとめる。
14	①授業のテーマ スポーツと政治②【担当者：日吉】 ②授業概要 近年、オリンピックの歴史を知る機会は増えたがその誕生に至る経緯を学ぶ機会は少ない。本講義では、オリンピック競技大会の誕生とその意義を解説し、オリンピックへの国家主義の影響、戦争の影響について具体的に紹介します。（D1・C1） ③予習（120分） 1936年の第11回オリンピック・ベルリン大会と1940年の第12回オリンピック・ヘルシンキ大会について調べ、まとめておく。 ④復習（120分） オリンピック競技大会の誕生の経緯を整理し、オリンピックへの国家主義の影響、戦争の影響のあった事例についてまとめる。
15	①授業のテーマ スポーツと政治③【担当者：日吉】 ②授業概要 スポーツの国際大会では差別反対や多様性への理解を訴える場面があるが、その意義について日本人は説明を受ける機

	会が少ない。本講義では、世界的規模で行われるオリンピックにおいて、差別反対の式典やボイコット問題が発生した事例を紹介し、オリンピックと政治的諸問題との関わりについて解説します。（D1・C1） ③予習（120分） 2020年に米国を始め、世界中で人種差別問題への共闘と団結を示す「片ひざをつく」行動が広がったが、2021年に予定されるオリンピックとパラリンピックで参加選手がこの行動をとった場合には処分の対象となるという。こうした出来事が起こるのはなぜなのか、背景を調べておく。 ④復習（120分） オリンピックと政治的諸問題との関わりについて、その是非を自分の意見としてまとめる。
関連科目	
教科書	
参考書・参考URL	
連絡先・オフィスアワー	■連絡先：開催時に告知します。 ■オフィスアワー：メール等でアポイントメントを取ることで、対応します。
研究比率	

